

仁本文庫データベース化プロジェクト 11月25日(水) 13:15～16:30
第6回研究発表会 参加費8000円(資料書籍込み)
 場所：仁木邸(袈裟尾1008)

菊池市にある仁木邸は明治21年建設で築138年。そこに残された戦前・戦中のおよそ1,000冊の書籍のデータベース化がついに完了。AIのテックに惑う今こそ、感情の交流が大切。本音を語れる仲間となって、日本のこころを体感し、元気な自分に帰ることを祈っていよいよ第6回の開催。仁木邸に来て、熱き風に吹かれてみませんか！ 待ってます！

受付 (13:00～13:15) 13:15開会

第1部：仁本文庫紹介と講話 (13:15～14:20 5分・30分・30分)

①松生由紀子「結婚と女性の生き方ー戦前・戦後・令和Ⅱ」

②岡田 京子「戦中、戦後を生きた二人の思想家の岐路Ⅴ」

第2部：参加者の皆様の自己紹介 (14:20～14:50 30分、休憩10分)

第3部：講話 (15:00～16:00 30分・30分)

③金森 美穂「この波にのっちゃえ」(特別出演)

④仁木 義邦「『産霊(むすび)』という生き方」

第4部：意見交換 (16:00～16:30 30分) 16:30閉会



【申込先】下記のメールやお電話にご連絡下さい。仁本文庫館長 仁木義邦

【連絡先】090-7530-0248 niki1203@gmail.com

【後援】菊池教育委員会

仁本文庫スタッフ



デザイン+編集業「創造舎」
代表、菊池みらいベース管

岡田 京子

さいたま市生まれ。デザイン研究所時代、松岡正剛氏(編集工学研究所)の影響を受け師事。松岡正剛氏の主宰する工作舎でのアルバイトの経験からヴィジュアルを中心にした編集+デザインの世界に進み、現在に至る。東京時代は美術館関係、新聞社関係の制作物を中心に広告企画制作全般におよぶ。NPO「フォトジェニックジャパン」を主宰、他アーティストイベントに関わる。熊本地震の年に熊本に移住。竹熊宣孝氏の書籍『熊さんの宝箱』を編集発行。現在は菊池市に居を移し、素敵な方達とシェアライフを楽しみながら自然の恵みを頂く暮らしをしている。



Café FIKA店主

松生 由紀子

個人事業オフィス碧(あお)にて30年間日英翻訳・通訳業務を続ける。2004年からRainforest Foundation Japan広島支部でコーヒー事業を立ち上げ、ネット販売とイベントカフェを主宰。2015年からUターンした熊本で、日本フェアトレード委員会のスリランカコーヒー復活プロジェクト活動に加わる。現在は、菊池市古民家、菊池みらいベースで地域交流拠点としてのカフェ運営に邁進中。



仁本文庫 スタッフ

仁木 七絵

熊本市に生まれ、縁あって2002年、仁木唯喜さんの弟で同じく戦死した仁木一正さんのお孫さんと結婚。「仁木嘉久蔵(かくそう)記念館事業」や「仁本文庫データベース化プロジェクト」作業に関わりながら、仁木家の歴史やいろいろな方々との出会いに学び、人の役に立つ生き方ができるよう、自分の生き方を見つめながら歩んでいる。



ゆかパン/仁本文庫スタッフ

津川 由香

菊池市在住。天然酵母で焼く、ちょっと無骨なカンパーニュが好きで、「ゆかパン」としてぼちぼち活動中。畑や自然、本、人との出会いも好きで、気になるものには自分で触れて、感じてみたいタイプ。人生もそろそろ「こうあるべき」から自由になっていい頃。自分の感覚を信じて面白そうの方へ。パンを焼いたり、本を開いたり、土に触れたりしながら、自分なりの自由な生き方を実験中。「ゆかパン」を通して、人が集まり、食べて、話して、ちょっと心がほどける。そんな時間をつくれたらと思っている。



仁本文庫 館長

仁木 義邦

学校退職後、公認心理師資格を取得しカウンセラー。令和6年、仁木の老家を引き継ぎ、残されていた戦前戦中の書籍(仁本文庫)を整理し研究発表を始める。建物は、「国の登録有形文化財(建造物)」に申請中。小説「ほんとの日本を見つける旅」や仁本文庫の研究発表会の資料集を出版。「日本人を元気に!」の願いでカウンセラー、セミナー講師、小説執筆に取り組んでいる。日本学級経営心理学会、日本学校心理士会に所属。専門は理科教育。作詞作曲に再挑戦が目標!